

田の田に見えぬいねとち

A-LAB Exhibition Vol.35

2022.10.15 | 土 | — 12.11 | 日

加納俊輔 | Shunsuke Kano

堀川すなお | Sunao Horikawa

吉野もも | Momo Yoshino

A
LAB

目で目に見えるぬいねとも

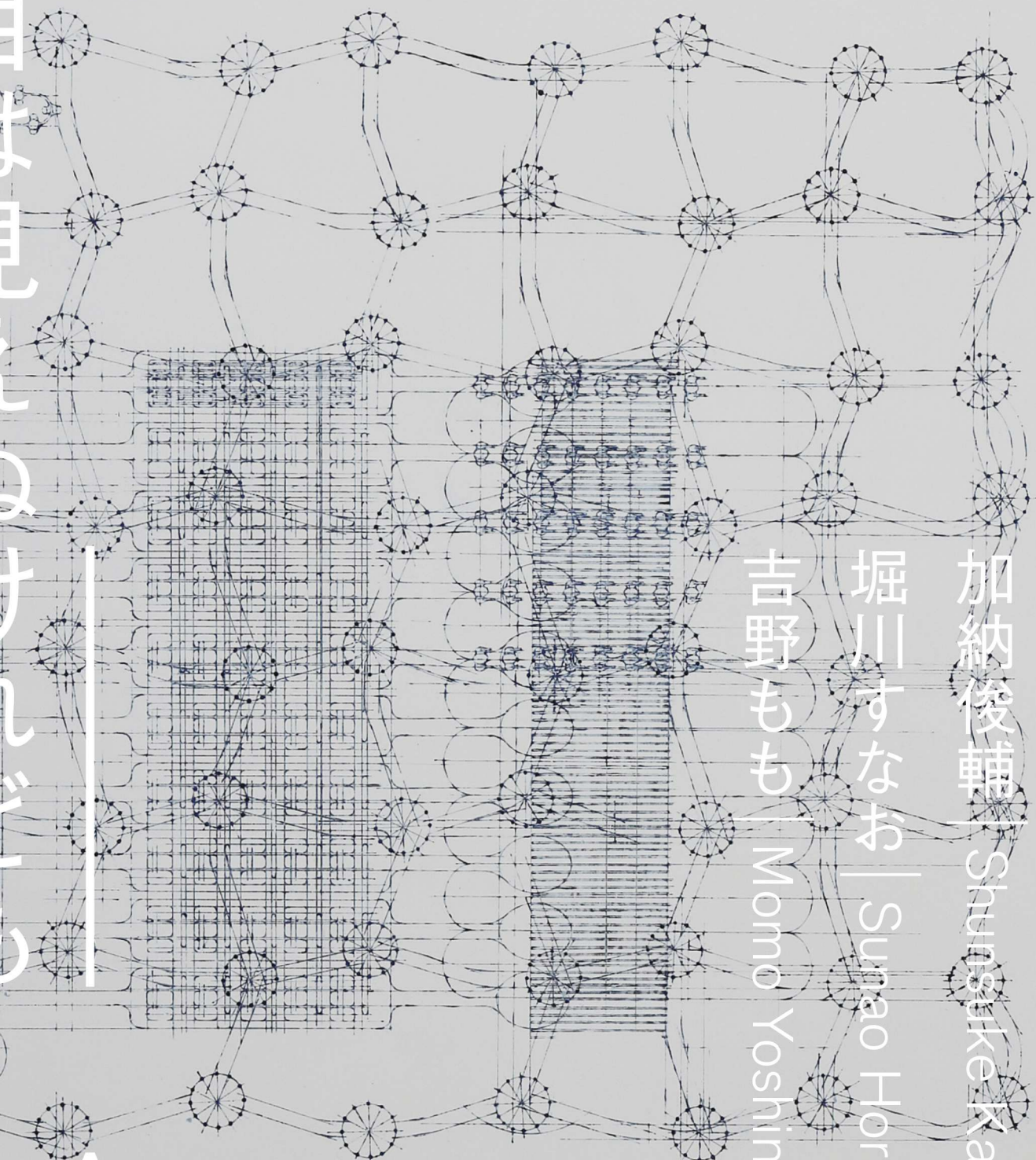
A-LAB Exhibition Vol.35

2022.10.15 | 土 | — 12.11 | 日 |

加納俊輔 | Shunsuke Kano

堀川すなお | Sunao Horikawa

吉野もも | Momo Yoshino



A LAB

目で目に見えるぬいねとも

目で目に見えるぬいねとち

A-LAB Exhibition Vol.35

2022.10.15 | 土 — 12.11 | 日

加納俊輔 | Shunsuke Kano

堀川すなお | Sunao Horikawa

吉野もも | Momo Yoshino

A
LAB

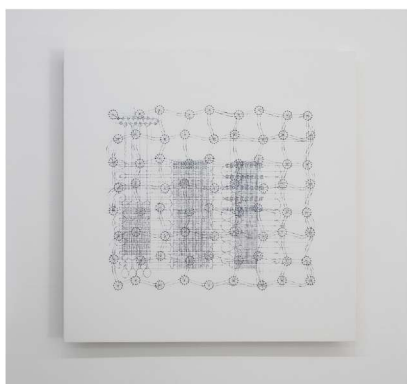
目で目は見えぬけれども

A-LAB Exhibition Vol.35 2022.10.15|±|—12.11|日| 平日: 11:00—19:00 / 土日祝: 10:00—18:00 [休館日: 火曜日]

私たちは普段、どのように、どれくらい、なにを見て、そこからなにを感じて生きているでしょうか。自分が自分だけでは存在しないのと同じで、私たちは自分の目でなにかを見ているようで、自分の目だけでなにかをとらえることは難しい。必ず他者の影響を受けていて、また自分自身も他者に影響を与える要素の一部であるのでしょうか。自分と世界の境界線の曖昧さは、自分の姿もぼやけさせてしまう。実は視覚はそんなに頼れるものではないのかもしれない。目に見えるものがすべてではない。「目で目は見えぬ」けれども、この世界の中に自分は確かに存在している。この展覧会で、加納俊輔、堀川すなお、吉野ももの3名の作品を通して、自分と世界のつながり、目に見えるもの以上のなにかを感じていただけると幸いです。



1



2



3

1
加納俊輔 | Shunsuke Kano

1983年大阪府生まれ。2010年京都嵯峨芸術大学大学院芸術研究科修了。現在、京都在住。主な展覧会に、「サンドウィッチの隙間」京都市京セラ美術館ザ・トライアングル(2021)など。写真(を撮る／を視る)を主なメディアとして扱い、イメージと物質の関係性についての考察を軸に、「視る」という体験を捉え直す試みとして平面、立体、映像と多岐の表現形態で展開している。

2
堀川すなお | Sunao Horikawa

1986年大阪府生まれ。2012年京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画領域修了。2015-2016年ポーラ美術振興財団在外研修員としてニューヨークにて滞在制作。主な展覧会に、「分かつろうとしようとする行為」東大阪市文化創造館(2021)など。私たちは世界をどのように捉えているのか、そして他者とどのように捉えた世界を共有しているのかを、描くことを通じて探っている。

3
吉野もも | Momo Yoshino

1988年東京都生まれ。2015年東京藝術大学大学院美術研究科油画専攻修士課程修了。主な展覧会に、「Make It Simple」三越コンテンポラリーギャラリー／東京(2022)など。視覚的な仕掛けを利用した描写で、絵画とその周りの環境との関係性を探究する。折り紙をモチーフに、まるで立体的にそこに在るかのように精緻に表現した「Kami」シリーズや、空間を拡張するかのように奥行きや立体感を創り出す壁画、インスタレーションなどの制作を行う。

1:《Pink Shadow_40》インクジェットプリント・木材、500×400mm、2021

2:《バナナ #553. "バナナ #3. (28) F. 観察; 日本人 #1" google 翻訳、読み; トルコ人 / トルコ共和国 (33) #1F. 2010-11)

顔料・ダンマルワニス・テレピン・オイルパステル・タルク・合成樹脂塗料・綿布・シナランバーパネル、60×60cm、2020 [撮影: 前谷開]

3:《Kami #62 -swirling water-》アクリル絵の具・パネル、120.6×119.6cm、2020 [撮影: 関根梓]

トークイベント

11月27日|日| 14:00—16:00

美学・感性学を専門とする近畿大学文芸学部文化デザイン学科准教授の岩城覚久氏と追手門学院大学社会学部社会学科教授の松谷容作氏をゲストに迎え、出演作家とのトークイベントを。定員先着15人。メール(amalove.a.lab@gmail.com)で申込必要。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況によってはイベントを延期・中止することがあります。最新の情報はホームページをご確認ください。

住所：
尼崎市西長洲 2-33-1
会場に一般用駐車場はありません

問い合わせ先：
市役所文化振興課 06-6489-6385
A-LAB Tel./Fax. 06-7163-7108

① @amalove.a.lab
www.ama-a-lab.com

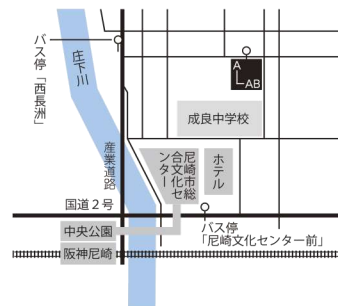


Sponsor/Partners: Baycom
Maki Fine Arts, rin art association

開館時間：
平日: 11:00—19:00
土日祝: 10:00—18:00

休館日: 火曜日

A-LABでは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策に取り組んでいます。ご来場の際に、マスクの着用や手指の消毒など、皆様のご協力をお願いいたします。取り組んでいる拡大防止策についてはA-LABのホームページなどでご覧いただけます。



A
LAB